

月刊
さわやか

第41号
平成22年9月15日

《発行》
(社)日野市シルバー
人材センター
日野市日野本町2-4-7
0421581-8171

地域班会議ではこんな質問が……

最近の質問傾向を見る

周知のように当センターでは毎年、前期(春)と後期(秋)の2回地域班会議が開かれています。そこで出された質問はセンターに集約され、なるべく処理されます。質問全体を吟味、選択し、たとえば会員全体に共通性がある重要な問題、また会員の関心が高い質問は、本紙に「一問一答」を掲載します(今回3面に掲載)。

他方、質問が特殊な問題であるとか、一部の特定の人々にかかわる問題、あるいはすでに何度も回答された問題の場合は、選択をして、質問が出た地域班の班長さんに直接回答します。

では、これまでどういう質問が多く寄せられているか。今回およびこの数年の質問傾向を見てみましょう。



栄町班の地域班会議(H22.7.4)

最多は就業に関する質問
今回は就業に関する質問は計63件。これを質問項目別に分類すると、分類の仕方にもよりますが、

会員数
平成22年7月31日

1,753名
男性 1,342名
女性 411名
入会者数 7月 45名
(男26名、女19名)
但し、退会者19名

が関連項目も含め「就業」に関する質問が最も多く19件(30.2%)。その中で3面の問2のような就業者の選考に対する質問が6件、就業開拓(仕事ふやせ)の注文が4件で上位を占めています。

過去の「一問一答」(注参照)を見て、「就業」に関する質問が最多で、計99件中26件(26.3%)のうち、やはり就業者選考の質問が7件で1位。2位は就業年齢制限の疑問(反対6件(今回1件)、3位が就業開拓要求5件)。

就業に関する質問がこのように多いのは、「仕事集団」である当センターの会員にとっては当然でしょうが、しかし同時に、地域班会議での説明や討議がまだ不十分であることをも示しているように思われます。

「就業」以外では、質問項目はかなり分散しますが、今回多かったのは、地域班会議(多くに出席率の低下)、職群班、指定管理者制度、事務局など。過去ではボラ

ンティア活動、定期総会、会員増強、シルバー保険等が目立ちました。

(総務部会、広報部会)

注「過去の「一問一答」『シルバー』の平成19年10月号および月刊さわやか』20年4月号、同11月号、21年4月号、同11月号、22年3月号に掲載された計6回の「一問一答」。質問数はのべ99件。

北村会長が常務理事を兼任
池田前常務理事・事務局長の辞任に伴い、北村会長が常務理事を兼任することになりました。8月31日の理事会で決定。

就業期限確認書を交付

公共部門14施設19名に

10月1日からの公共部門就業者に対する就業期限確認書の交付式が9月3日、当センター会議室で行われました。今回は14施設19名が対象。北村会長は職場リーダーを中心に共働共助の精神で仕事をしてほしいと挨拶しました。一同を代表して中央公民館清掃の大澤須美子さんが確認書を受け取りました。(2面につづく)

今回6ページ建て
3面=質問にお答えします
4面=一斉清掃参加者一覧表

どう見る？ 地域班会議の 出席率低下

各地域班長に聞く 自助努力の班長も

最近、地域班会議への出席率の低下を憂慮する声が出始めています。逆に増えている班もありますが、全体としては左表のようにこの3年間で3・7ポイントも落ち込んでいます。これどう見ているか、いくつかの地域班長さんに聞いてみました。

もつと身近な情報提供を

A班長「低下の原因は次の3点だ。お茶代のカット。同じ地域でも余りなじみのない会員が支給されたお茶を飲むことで、気持ちを和らげ交流のきっかけとなつて

H19年春	41.8%
H20年春	44.0%
H21年春	33.1%
H22年春	30.3%

いた。質問に対する回答が通り一遍で本質的でなく満足感が得られない。会

議やボランティア活動に一度も出席しない会員でも就業しているなど、会議出席のメリットが無いと思う会員がいる。

B班長「同じ地域班の会員と一緒に楽しんで交流をはかることを大切にしている。会議の内容については、情報提供が会員の知りたい情報と一致していない等、役員と一般会員の意識に隔たりがあるようだ。もつと会員が知りた

関心高めて参加呼びかけ

C班長「地域が団地のためか旧知の会員たちが多く、地域班会議が良いコミュニケーションの場となつている。

D班長「とくに出席の呼びかけはしてはいないが、会員の名前をしっかりと覚えて、見かけた折には名前を声かけをしている。地域班会議の他に、3カ月に1度の割で懇親会を開き、お酒を飲みながらコミュニケーションを図っている。E班長「チラシや月刊さわやかの記事に赤線を引くなどして強調し、関心を高めて参加を呼び

掛けている。出席率低下がお茶代カットのせいとは言えないが、規程で会議の開催を決めているので、最低限度である茶代ぐらひは支給されても良いのではないか。

(交付式「1面のつづき」)



北村会長(右)から確認書を受け取る大澤さん

次いで、事務局の生田次長が「就業のしおり」をもとに、研修期間・配分金・シルバ保険について説明し、各職場担当の事務局職員を紹介しました。この後、一同は4グループに分かれ、各統括リーダーから研修を受けました。研修参加者は公共施設関係10名、学校関係5名、自転車関係1名、公園・スポーツ施設関係3名でした。

理事会二ニュース

第5回理事会 8月31日

審議事項「正会員の入会、常務理事の辞任に伴う職務権限について

報告事項「公益法人認定スケジュール、次回リサイクルフェア、7月事業実績、各専門部会・安全管理委員会の報告

「センター」行事日程」

9月14日(火)第3回地域班長会議「生活・保健センター」
9月25日(土)自転車安全運転講習会「あさひがおか児童館」
10月23日(土)リサイクルフェア「リサイクル事務所

フエア「リサイクル事務所

計報欄「該当者なし」へくなられた方があつても、「遺族が同意された場合のみ掲載します」。

配分金の支払日

- 9月17日(金)
- 10月20日(水)
- 11月19日(金)
- 12月20日(月)
- 1月20日(木)
- 2月18日(金)
- 3月18日(金)

地域班会議での質問に お答えします

平成22年度「前期(春の)地域班会議」で寄せられた質問から次の8項目にわたってお答えします。
(総務部会)

1 女性会員が少ない理由は、就業する仕事が少ないのではないかと。就業拡大計画の中の21年度、22年度家事援助事業の充実と規模拡大とあるが、見えてこない。今後、是非期待する。

回答 当センターの女性入会率は、東京都全シルバー人材センターの女性入会率と同等となっております。家庭向けの各種サービスのうち家事援助事業は、女性会員の就業先として、センターにとって大事な事業です。昨年度は就業希望者を増やすため、『月刊さわやか』にて、お客様の声を特集しました。また、事業部会においては、先進地センターの視察を実施しました。今年度は、家庭へ、家事援助等のご案内の訪問開拓を実施し、規模拡大を目指します。

2 希望の仕事に申し込むが仕事につけないボランティアに積極的に参加する人は、優先的に就業できないか。

回答 就業申込に対する就業委員の決定については、就業調整委員会において選考しています。公平の原則を守り、第一に未就業期間等を考慮しながら選考しております。特に施設の受付等申込希望者が多い就業先については、申込者の状況によりますが、すぐに選考されない場合もあります。センターのボランティア活動は、公益法人として、地域社会の貢献を目的として実施しており、優先的就业選考を視野に入れて実施するものではありません。切り離していただきますようご理解をお願いします。

3 就業待機期間は、どの程度が目安となっているか。

回答 問2で一括回答とします。

4 会員の増加の傾向のなかで、就業率が悪くなるため、打開策は？

回答 リーマンショック以来、非常に厳しい経済情勢下にあつて、会員の就業に影響が出ていることは事実ですが、打開策については、選挙事務補助業務など、多くの会員が活躍できる事業を実施することができました。引き続き、就業開拓専門員による企業等の開拓及びセンターが事業を起こす独自事業の調査・研究を実施しています。

5 就業率をアップしてほしい。仕事がない。

回答 問4で一括回答とします。

6 シルバ人材センターの保険は、どこまで補償してくれますか？

回答 シルバ人材センターでの活動は、就業だけではありません。班会議や定期総会、ボランティア活動など多岐にわたり、それらをすべて網羅する保険が「シルバー人材センター総合保険」です。補償の内容は、今月の『月刊さわやか』のチラシを入れさせていただきましたので、ご確認ください。

7 就業開拓員2名には限度があると思われるので、地域班2名程度の補助員を設けたらどうか。補助員の手当は出来高制としてはどうか。

回答 ご提案ありがとうございます。就業開拓につきましても、会員の個々の技能・知識・経験、センターで受けられる請負契約の内容等を十分に理解して行う必要があります。また、公益法人として、民衆の圧迫とならないよう、事務局と連携を密にし、都度慎重に対応する必要もある中で、当面、現状の事務体制にて、

協議し、拡大に努めます。

8 「適材 適所」の人選をして、職場に送ってほしい。

回答 就業調整委員会において、公平の原則を守り、未就業期間を優先しながら、会員の希望、適性等を総合的に判断して選考するよう努めています。が、今後はより厳格に選考してまいります。

子どもと高齢者の自転車安全運転講習会(案内)

さる6月7日に南平体育館で行われた「高齢者の自転車安全運転講習会」に続き、今度は子どもも対象にした講習会を左記の要領で開催します。会員の皆様のご協力をお願いします。

記
*日時 9月25日(土)
午後2～4時

*会場 iesaひがおか児童館
(日野市旭が丘2-45)

*対象 計50名(子ども20名)

*主催 日野警察署、日野市

*協力 日野市S、日老連、iesaひがおか児童館ほか

一斉清掃(7/18)の写真



平山1・2班(投稿)



新井・高幡班

全地域班一斉清掃 今回(7/18)は412人参加

当センターの全地域班一斉清掃は平成20年5月18日、センター設立30周年記念行事の一環として開始され、今回まで計6回実施されました(右表参照)。下の表は、各年度の最初の取り組み3回分の参加者数を、地域班別に集計したものです。班によって多少の増減があるものの、全体としてはほぼ同水準で推移しています。

第1回 = H20年 5月18日
第2回 = H20年11月16日
第3回 = H21年 7月19日
第4回 = H21年10月18日
第5回 = H22年 3月 7日
第6回 = H22年 7月18日

全地域班一斉清掃 = 各班参加者一覧表 (過去3回比較)

地域班	今回	前回	前々回	地域班	今回	前回	前々回	地域班	今回	前回	前々回
日野1	12	18	20	日野台2	6	6	9	平山2	10	11	10
日野2	23	26	23	多摩平1	13	20	12	鹿島・南平	15	9	15
万願寺1	15	19	23	多摩平2	8	10	9	南が丘・南平台	9	6	8
万願寺2	17	13	14	多摩平3	8	3		南平2	15	18	21
日野4	13	7	10	旭が丘1	8	8	7	南平3	25	29	29
日野本町	14	16	17	旭が丘2	6	9	7	新井・高幡	10	11	20
新町	12	12	9	豊田	11	9	7	落川・百草	15	23	20
栄町	7	10	6	東豊田	12	9	12	三沢	24	15	16
神明	12	7	11	東平山	7	11	8	程久保	12	18	12
大坂上	9	9	7	西平山	13	10	10	高幡台	11	11	9
日野台1	14	9	8	平山1	14	13	10	百草台	12	13	15
								合計	412	418	414

今回 = H22.7.18、前回 = H21.7.19、前々回 = H20.5.18

当センター横断幕スローガン決まる シルバーで明るく元気な日野市をつくろう

～ 渡辺敬明氏（三沢班）の作品～

当センターはこのたび、PR用の横断幕スローガンを一新するため、会員の皆様からスローガンの募集をしたところ、11名の方から24点の応募がありました。広報部会での選考の結果、渡辺敬明氏（三沢班）の上記の作品が採用となりました。応募された方々には、ご協力に心から感謝申し上げます。（広報部会）

第60回定期総会

議案質問への回答（再録）

質問者「神明班のSさん」

第60回定期総会の議案に対する神明班のSさんの質問2点については、すでに総会当日、安藤副委員長が回答していますが、ここに改めて再録します。

質問1 就業延べ人員の中で年間12回以下の就業人員は何人いるか？

回答 議案書5ページ表6「事業実績」の就業延べ人員13万7873人の中で、年間12日以下の人は163人です。

質問2 テレフォンサービスの応募ゼロもあるのか？ テレフォンサービスの年間件数、募集人員、応募人員はどのようになっているのか、公表してほしい。

回答 平成21年度の実績で応募ゼロもあります。テレフォンサービス募集件数は141件、アクセス数4426件。募集人員209人のところ、211人の申し込みがありました。募集人員、応募人員の公表に

ついては、『月刊さわやか』に掲載するよう検討します。

普及月間・産業まつり等で

センターPR活動実施

毎年10月はシルバー人材センターの普及啓発促進月間（全国一律）。当センターでも豊田駅での横断幕掲揚や高幡不動駅前等でのセンターPR用のチラシ配布活動を予定しています。さらに、10月23日開催のリサイクルフェア、11月13・14両日予定の日野市産業まつりでもチラシ配布等のPR活動を行います。

リサイクルフェア

10月23日（土）

午前10時～午後2時

リサイクル事務所

女性会員初めて40人を突破

一面題字下の表にあるように今年7月末で女性会員数は411名に達し、当センター史上初めて400人の大台を突破しました。会員総数1753名も過去最高です。

それってなに？

就業延べ人員

会員の就業状況を示す数値の一つ。就業実人員が実際に就業（年間1回以上）した会員の実数を示すのに対し、就業延べ人員は各就業者が年間何回就業したかのトータル。たとえば1会員が平均週2～3回、年間120回働くとします。この場合、就業延べ人員は120人です。平成21年度の実績は実人員1297人、延べ人員13万7837人で、1会員が年平均106.3回働いたこととなります。



産業まつりでのPR活動(H21.11.15)

AED講習会を実施

今年度2回目、公共施設就業の9名が参加

当センターのAED(自動体外式除細動器)の講習会が8月16日、センター会議室で実施されました。安全管理委員会の主催によるもので、今年度2回目です。今年1月15日の開始から通算3回目になります。

参加者は、AEDが設置されている公共施設9カ所から各1名。全員が未体験者です。講師は、前回(5月17日)と同じ日野消防署防災課の佐々木和義氏。

橋本安全管理委員長の司会で始まり、最初に安藤事務局長が挨拶し、続いて佐々木講師のお話。心肺停止状態の患者に対し、救急車到着まで6〜7分間の応急措置(心肺蘇生の試み)が決定的で、そのための装置がAEDです。その前に、気道確保、人工呼吸、心臓マッサージが肝心と講師は強調します。

実技体験では、参加者全員が

〔平成22年度安全標語最優秀作〕

次の路地 飛び出しあるぞ 気をつける 金田 春雄(日野本町)



心臓マッサージの実習

一人ひとり、人形を使って気道確保、人工呼吸、心臓マッサージAED使用の全コースを実習しました。実習後、「とても勉強になった」「役に立った」「心臓マッサージがこんなに有効とは知らなかった」等々の感想が聞かれました。AED講習会は年間4回実施する計画で、次回は11月に予定しています。

当センター今年度の事故状況

計4件に増加

7月に2件発生し、今年度事故件数は計4件(傷害、賠償各2件)となりました。〓左表

平成22年度の事故発生状況(4~8月現在)

発生日時・当事者	仕事内容	事故の種類・状況	
		傷害	賠償
4/22 AM 74歳 男性	ピアノ移動	傷害	物落下、右足甲部骨折
5/12 PM 72歳 男性	公園清掃	賠償	飛石、ガラス・窓枠損傷
7/30 AM 68歳 男性	小学校管理	賠償	昇降口ガラス破損
7/31 AM 73歳 男性	草取り	傷害	転倒、鋏で左脇創傷

ご注意! とくに戸外や炎天下で就業されている皆様には、日よけ帽の着用や水分補給はもちろん、適宜な休息、そして何よりも十分な睡眠を取って、体調維持にご注意ください。

父とひまわり

岡崎 美恵子

「夏はてしないようにね」と、父からメッセージカードが届いた。ひまわりの形のこのカードを手に乗せて「ひまわりはお父さんの好きな花よ」と言った母のことはを思い出した。

「銀ブラに行こうか」と、父は未っ子の私をよく連れて行ってくれた。当時珍しかった外国のチョコレートを買ってくれたときは、それを机の引き出しにしまっけて毎日一つずつ大事に食べた。

夏になると父は高校野球に夢中でビール片手に「やったあ、ホームランだ!」と騒いだ。

父のあれこれ思い出していたら、父の郷里の一面のひまわり畑が目に見えかんだ。父から「ひまわりが好き」と直接聞いたことはないけれど、不意に父とひまわりが重なった。

私は家族も承知の花好きだけれど、特にどの花が好き、ということはない。

父からのカードを見つめて、後々家族は私と何の花を結んで想い出してくれるのだろうか、との思いにふけてしまった。

市実施の特定健診、生き生き健診は必ず受けましょう
問合せ先〓市健康課、保険年金課